

都市再生整備計画(第2回変更)

しもとうじょう ちく
下東条地区

ひょうごけん おのし
兵庫県 小野市

平成25年11月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	兵庫県	市町村名	小野市	地区名	下東条地区	面積	868.0 ha
計画期間	平成24年度～平成26年度	交付期間	平成24年度～平成26年度				

目標

- 大目標：自然を活かした「コミュニティセンター下東条」（以下「コミセン下東条」という。）周辺の環境整備により、魅力ある空間を創出し、地域住民の生きがいづくりや地域交流の活性化を図る。
- 目標①：地域の交流拠点である「コミセン下東条」周辺の交通環境を改善し、地域住民・来訪者の快適性向上を図る。
- 目標②：「コミセン下東条」周辺において、新たな交流拠点である「観光交流センター」を整備し、地域住民の生きがいづくりや地域交流の活性化を図る。

目標設定の根拠

- まちづくりの経緯及び現況
- 【経緯】
- ・「コミセン下東条」の周辺において、「おだ子午線の森」や「こだまの森」など、自然を活かした交流の場を計画的に整備してきた。
 - ・「おだ子午線の森」等の里山を管理、整備するボランティア団体が組織され、住民主体の地域づくりが行われている。
 - ・「下東条地区地域づくり協議会」（平成16年発足）では、住民を対象とした夏祭り、体育祭、文化祭等を実施し、地域交流の活性化を図っている。
 - ・平成20年5月に、地元自治会、老人クラブ、小中学校PTA等で構成される「下東条地区の未来を考える委員会」が組織され、当地区の課題と対策について検討し、「下東条地区まちづくり活性化計画」を策定した。
 - ・「下東条地区まちづくり活性化計画」において、地域資源の磨き上げ、施設間のネットワーク化による交流促進が必要であることを提言した。
 - ・平成22年4月に、地域住民で構成する「味彩会」が組織され、地元で取れる米、野菜等を使用した特産品の開発に住民が主体となって取り組んでいる。
 - ・「味彩会」は、研究・開発した特産品の試食会を地域の夏まつり、文化祭を始め、市の産業フェスティバル等で行い、地域の活性化に向け積極的に活動している。

- 【現況】
- ・下東条地区は、市北東部に位置し、東条川や万勝寺川沿いの田園地帯とそれらを囲む山林から形成されている。
 - ・地域の主要産業は農業で、酒米「山田錦」の栽培を中心とした米づくりが盛んな地域である。
 - ・近年、農業従事者の高齢化や後継者・担い手不足により、耕作面積が減少すると共に、地域の人口も減少しており、地域の賑わいが失われつつある。
 - ・当地区は、市の総合計画において、「緑あふれる美しさと安らぎに包まれた元氣なふるさと創造モデル地区」に位置付けられている。
 - ・「コミセン下東条」では、生涯学習拠点として、市民研修センターやグラウンド、体育館のほか、宿泊施設が整備されている。

- 課題
- ・「コミセン下東条」とその周辺が、地域内外の交流を通した「生涯学習拠点」として、さらに発展するために、憩いの場の創出や周辺景観と調和した環境整備を行う必要がある。
 - ・観光に対するニーズは、「周遊型」から「体験型」へと移行しており、「おだ子午線の森」や「こだまの森」などは、自然を活かした交流や学習の促進が求められる。
 - ・交流資源が点在し、互いに連携がとれず、地域全体としての魅力を活かしきれていないため、各施設をネットワーク化する必要がある。
 - ・拠点施設である「下東条コミセン」においては、更なる人を呼び込むために、施設の充実が必要である。
 - ・地域の主要産業である農業の衰退により、地域の賑わいが失われつつあるため、地元農産物等を利用した特産品開発等を住民が積極的に行うことにより、地域間交流を活性化させる必要がある。
 - ・主要地方道等と地域の幹線道路網の整備を推進し、地域交流を支える交通基盤施設の強化を推進する必要がある。

- 将来ビジョン（中長期）
- ・市の総合計画では、「緑あふれる美しさと安らぎに包まれた元氣なふるさと創造モデル地区」に位置付けられており、豊かな自然環境の保全、活用による美しい地域づくりを目標としている。また、農業を核とした特色ある地域づくりや都市と農村の交流を促進し、やりがいと賑わいに溢れた魅力ある農村地域の構築を目指している。
 - ・豊かな自然環境を生かし、誰もが心からの「ときめき」と「やすらぎ」を感じる個性的な空間形成の創造を目指す。また、人と自然がふれ合う場として公園や緑地を積極的に整備し、ふるさとの景観保全と美化意識の向上を図る。
 - ・市の都市計画マスタープランでは、本市を代表する豊かな自然環境を保全すると共に、レクリエーション機能等を充実するほか、農業集落の快適な田園生活のコミュニティを保持することをまちづくりの目標に定めている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
				7	23	50	26
道路利用者の満足度	%	アンケートによる道路利用者の満足度	交通環境の改善を図ることにより、利用者の満足度を向上させる。利用者の5割以上が満足する環境を目指す。				
交流人口	人／年	コミセン下東条及び観光交流センターの利用者数	地域の交流拠点である「コミセン下東条」と「観光交流センター」との相乗効果により、地域交流の活性化に繋がる交流人口の増加を目指す。	38,700	23	48,000	26

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
整備方針1 ・コミセン下東条周辺の交通環境の改善を図るため、道路の新設等の整備を行い、交通安全性、利便性を向上させる。		・道路(基幹事業／市道215号線) ・道路(関連事業／主要地方道神戸加東線) ・道路(関連事業／市道118号線) ・道路(関連事業／市道6333号線)
整備方針2 ・地域の魅力を発信する観光情報の提供を始め、地元食材を利用した加工体験や加工品の販売による地域交流の促進を図るため「観光交流センター(仮称 下東条やすらぎの館)」を整備する。 ・豊かな自然を活かした地域交流や体験学習の促進を図るため、憩いの場の創出や周辺景観と調和した環境整備を行う。		・高質空間形成施設(基幹事業／交流施設エントランス修景整備) ・高次都市施設(基幹事業／観光交流センター(仮称 下東条やすらぎの館)) ・地域創造支援事業(提案事業／交流施設エントランス等修景整備) ・地域生活基盤施設(基幹事業／情報板) ・ため池等整備事業(関連事業／廣瀬谷1・2・3号池)
・		

その他

- 事業終了後の継続的なまちづくり活動
当地域では、地域の人づくり、まちづくり、輪づくり等地域のことは地域で考えようと、平成16年度に下東条地区地域づくり協議会が設立され、地域の活性化に積極的に取り組んでおり、事業終了後においても住民主体のまちづくりを継続していく。
平成22年4月に設立された、下東条地区地域づくり協議会の一組織である「味彩会」が中心となり、観光交流センター(仮称 下東条やすらぎの館)の運営方法等を既に検討しており、施設整備後においても継続して管理運営していく。
- 交付期間中の計画の管理について
交付期間中において各種の事業を円滑に進め、目標に向けて確実な効果をあげるために、下東条地区地域づくり協議会や地元ボランティア団体等で事業成果についての評価や事業の進め方の改善について検証する。

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	166	交付限度額	66.4	国費率	0.4
---------	-----	-------	------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付対象	
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分
	道路		市道215号線	小野市	直	183m	24	24	24	24	46	46	46	46
	道路													
	道路(地方都市リノベーション事業)													
	公園													
	公園(地方都市リノベーション事業)													
	古都及び緑地保全事業													
	河川													
	下水道													
	駐車場有効利用システム													
	地域生活基盤施設	情報板		小野市	直	4基	26	26	26	26	4	4	4	4
	高質空間形成施設	交流施設エントランス修景整備		小野市	直		24	24	24	24	17	17	17	17
	高次都市施設	観光交流センター(仮称 下東条やすらぎの館)		小野市	直	175.2㎡	24	25	24	25	72	72	72	72
	地方都市リノベーション推進施設													
	生活拠点施設													
	既存建造物活用事業(地方都市リノベーション推進)													
	土地区画整理事業													
	市街地再開発事業													
	住宅街区整備事業													
	地区再開発事業													
	バリアフリー環境整備事業													
	優良建築物等整備事業													
	住宅市街地総合整備事業	拠点開発型												
		沿道等整備型												
		密集住宅市街地整備型												
		耐震改修促進型												
	街なみ環境整備事業													
	住宅地区改良事業等													
	都心共同住宅供給事業													
	公営住宅等整備													
	都市再生住宅等整備													
	防災街区整備事業													
	合計										139	139	139	0 139 …A

提案事業(継続地区の場合のみ記載)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付期間内		交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造 支援事業	交流施設エントランス等修景整備	交流施設エントランス等	小野市	直	2000㎡	24	25	24	25	27	27	27		27
事業活用調 査														
まちづくり活 動推進事業														
合計										27	27	27	0	27 …B

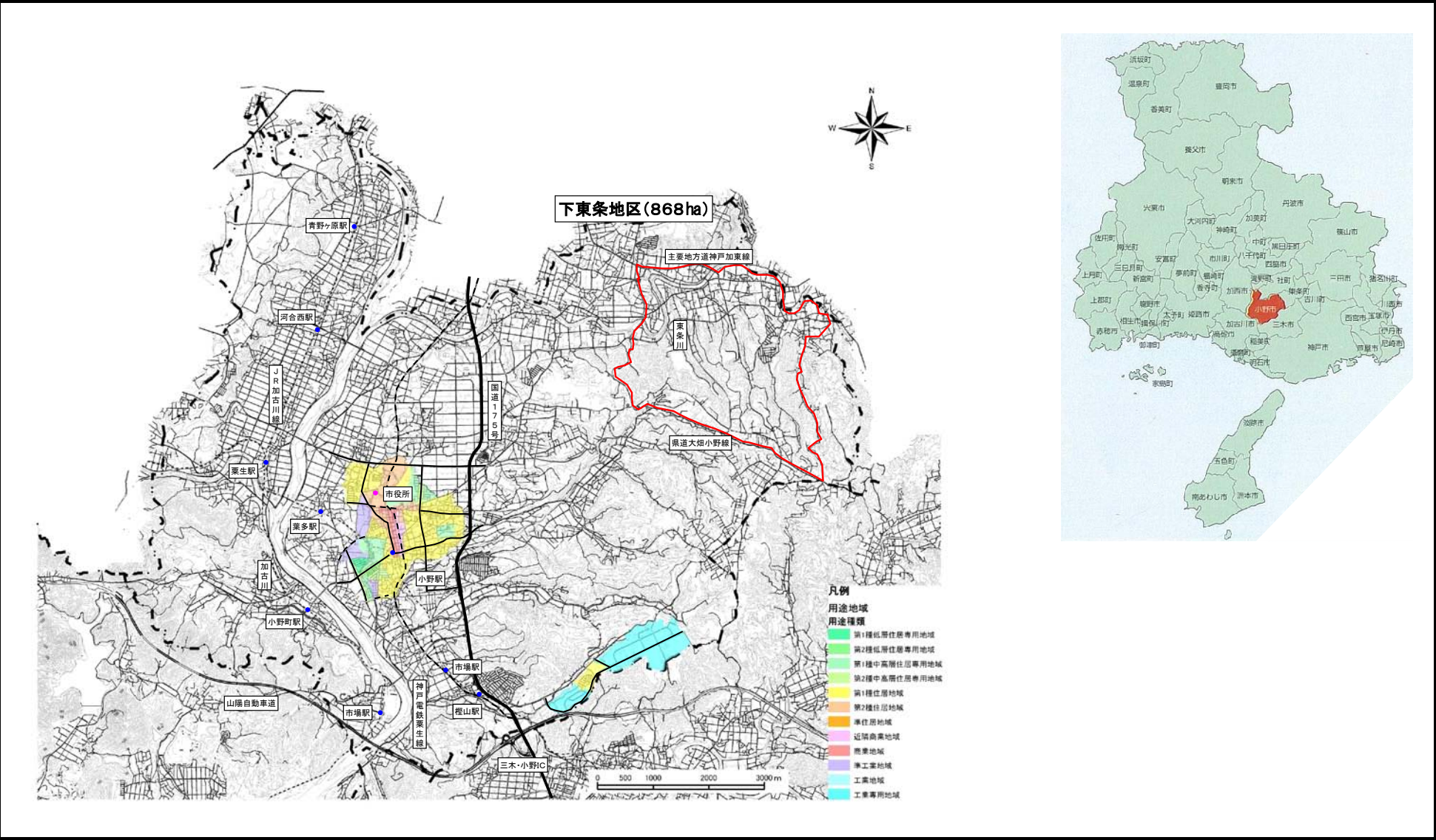
合計(A+B)	166
---------	-----

(参考)関連事業

[illegible]

都市再生整備計画の区域

下東条地区(兵庫県小野市)	面積	868.0 ha	区域	池田町、脇本町の全部と福住町、小田町、船木町、曽根町、中谷町、万勝寺町の各一部
---------------	----	----------	----	---



下東条地区(兵庫県小野市) 整備方針概要図

目標	自然を活かした「コミュニティセンター下東条」周辺の環境整備により、魅力ある空間を創出し、地域住民の生きがいがづくりや地域交流の活性化を図る。	代表的な指標	道路利用者の満足度(%)	7	(23年度)	→	50	(26年度)
			交流人口(人/年)	38,700	(23年度)	→	48,000	(26年度)

